

nikkor club

70th
Anniversary

270

2022 AUTUMN

旅写真
へ出掛けよう

特集

特別

特別

特別

特別

特別

特別

特別

特別

特別

特別

特別

特別

特別



CONTENTS

特集

08

写真を撮る旅へ出掛けよう

浅野久男／山口規子／小林 淳／助川康史

ニッコールクラブ創立70周年記念連載 田沼武能先生に聞く

22 「ニッコールクラブ70年と日本写真界」 第2回 会長三木 淳とニッコールクラブ

コンテスト

- 30 サロン・ド・ニッコール カラーの部
選評：三好和義／小林紀晴
- 42 サロン・ド・ニッコール モノクロームの部
選評：ハナブサ・リュウ
- 50 ネイチャー・フォトサロン 選評：大西みつぐ
- 58 チャレンジ・フォトサロン 選評：佐藤倫子
- 63 予選通過者一覧
- 64 総評・得点表
- 66 ワンポイントアドバイス

連載

- 表2 地球のどこかで思いを馳せる
色に見とれる秋 高砂淳二
- 16 私のライフワーク 第6回
御柱祭 小林紀晴
- 18 受賞者の“いま”
第41回土門拳賞
北島敬三 文：池谷修一
- 24 エプソン 楽しくきれいにプリント 講座 vol.13
作品を理想的に仕上げる
最適なプリント用紙を選ぼう！
- 26 アベっちのZの秘密 その13
新世代のマイクロニッコール！解像力と「美ボケ」を追求した
NIKKOR Z MC 105mm f/2.8 VR S
阿部秀之
- 29 Let's Go Nikon College！ 第13回
旅写真を対象としたオンライン講座の紹介 浅野久男

作品

- 02 THE GALLERY企画展
ああ、世界は美しい saizou
- 03 THE GALLERY企画展
報道写真展 エディトリアルライン
松尾憲二郎／アフロスポーツ



表紙写真 山口規子

ベトナム中南部に位置するクイニョンは、青い海に添って田園風景が広がる街。そこで伝統的な円錐形の葉笠「ノンラー」を作り続けているグエン・ティン・タンさんに会いました。色彩豊かで繊細な刺繍が施される彼女の作品は、儀式でも使われるほど。現地のモノは現地の光で撮るのが一番。その場の空気感を大切に、シャッターを切りました。
Z 6・NIKKOR Z 24-70mm f/4 S・f/8・1/50秒・ISO640・WB晴天

- 04 THE GALLERYセクション展
海からの便りII 飯田裕子
- 05 THE GALLERY企画展
虚空の如くなる心 宇宙の絶景を求めて 山野泰照
- 06 THE GALLERY企画展
肖像 身体 -Portraits◆Bodies- ハナブサ・リュウ

製品情報

- 20 PRODUCT REVIEW VOL.20
Z 30 上田晃司
- 28 ニッコールクラブ会員限定
ニッコールクラブ70周年記念グッズ
販売のご案内

インフォメーション

- 67 PHOTOGALLERY INFORMATION
- 68 会員写真展 PickUP！
水没した村の記憶 加藤清市
見えない肖像 高木賢治
- 70 NCニュース
- 72 支部だより
- 73 イベント情報
- 79 楽しく学べる！写真教室 Nikon College

*

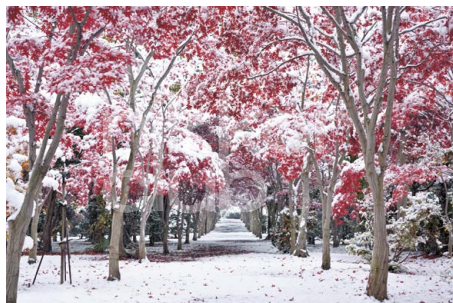
ニッコールクラブ創立70周年記念特別号

- 表3 会長挨拶
- 01 ニッコールクラブ アドバイザーからメッセージ
- 02 ニッコールクラブ年表
- 15 ニッコールクラブ創立70周年記念作品集
- 44 ニッコールクラブ アドバイザー 座談会
創立70周年を迎えて

特集

写真を撮る旅へ出掛けよう

浅野久男／山口規子／小林淳／助川康史 写真・解説



札幌市 平岡樹芸センター／11月3日までの開園期間中、真っ赤に色づいた並木道と落葉の真っ赤なペールのような姿は見る人を魅了します。十数年に一回くらいの割合でみられる紅葉と積雪の光景は絶景という言葉に相応しい姿です。

(上) Z5・NIKKOR Z 24-200mm f/4-6.3 VR+ マウントアダプター FTZ・f/7.1・1/400秒・ISO800・WB晴天・ピクチャーコントロール/ビビッド(下) D810・AF-S Micro NIKKOR 60mm f/2.8G ED・f/10・1/40秒・ISO400・WB晴天・ピクチャーコントロール/ポートレート



別海町 野付湾 打瀬船漁／例年10月から別海町野付半島の尾岱沼ではホッカイシマエビ漁がエンジンを使わない打瀬船での漁がおこなわれています。秋の風物詩としてお勧めです。野付半島には、野生動物との遭遇も。

(上) Z fc・AF-S NIKKOR 200-500mm f/5.6E ED VR+ マウントアダプター FTZ・f/32・1/500・ISO400・WB曇天・ピクチャーコントロール/ビビッド(下) Z fc・AF-S NIKKOR 200-500mm f/5.6E ED VR・f/6.3・1/125秒・ISO400・WB晴天・ピクチャーコントロール/ニュートラル



浅野久男

風景写真を楽しむ 撮影旅に出掛けよう

〈北海道編〉

秋の北海道の風景写真を
楽しむために

今回は、本州よりも一足先に秋が訪れる北海道を紹介しながら、風景撮影旅のポイントをもとめていきます。

撮影旅行は、事前に計画を立てて撮影に出かけられると思います。私は日ごろから撮影したいイメージの撮影ポイントや、撮影したいイメージのイメージを簡潔書き添えて、その中からピックアップをしていきます。事前にWebなどをチェック、撮影ポイントのイメージを固めています。また、撮影地の距離感をきちんと確認。撮影ポイントを絞り込むのが肝心です。無理のない撮影プランをまずは立てましょう。

感動する風景写真を撮影するためにはどうしても早朝・夕方が多くなるために撮影に際しては、公共交通よりも、車

を利用することが主となります。車中泊のマナーには、気を付けましょう。無料でも利用できる道の駅は、北海道を車で旅する時にはとても便利な施設ですが、それぞれの道の駅で車中泊に関するルールが異なります。道の駅を利用する場合には、事前にルールを確認しておくことをおすすめします。

北海道は大変広く秋の風景も地域ごとによって、時期に差があります。また北国の秋は非常に短いので、前日に暖かい日差しが感じられても翌日は雪が積もっているという日があるかもしれません。車で撮影に来られる際はスタッドレスタイヤの早めの装着、撮影時も冬の準備は必須な場合もあります。

秋の風景写真で大切なのは、「秋色」をどう印象的に撮影するのかということにあります。撮影の際に自分が狙っ



清里町 神の子池／摩周湖からの地下水が湧き出ているといわれる言い伝えから「神の子池」と呼ばれています。こんこんとわき続けるコバルトブルーの湧水と落ち葉のコントラストが秋の撮影の目玉の一つです。Z 5・NIKKOR Z 24-200mm f/4-6.3 VR・f/10・1/30 秒・ISO800・WB晴天・ピクチャーコントロール/ビビッド

3 KEY POINTS

- 撮影地を欲張らないで程度絞り込む
- 天候に注意！北海道の秋は短く、地域差が大きい
- 秋の色は「ホワイトバランス」と「ピクチャーコントロール」がポイント

ている作品にフィットする「ピクチャーコントロール」と「ホワイトバランス」の設定が重要なポイントになります。ホワイトバランスは基本「太陽光」もしくは「太陽光オート」が基本となりますが、朝・夕の光景などは曇天や日陰などを選び、自分のイメージに相応しい色をセレクトします。

ピクチャーコントロールの設定には注意が必要です。どうしても秋色の光景を撮影しようとするのとビビットなどの派手目な色使いを考えてしまいが、モミジなどの「赤一色の光景」などは色飽和を起こしてトーンジャンプをしてしまうこともあります。その場合



音更町 家畜改良センター十勝牧場白樺並木／紅葉の白樺並木に運よく朝霧が立ちこめました。霧の中に続く白樺並木がとても幻想的です。四季を通じてこの並木は絶好の撮影ポイントです。Z 7 II・NIKKOR Z 70-200mm f/2.8 VR S・f/9.1/320 秒・ISO400・WBオート・ピクチャーコントロール/ビビッド

は彩度をあげすぎずに「ポートレート」を使用すると飛びすぎずに撮影することが出来ます。ぜひお試しください。広い北海道、撮影を楽しむことはもちろんですが、旅そのものや食事なども楽しみがたくさんあります。良い旅を。

山口規子

旅情を感じる 写真を撮る



旅情を醸し出す、
何気ない瞬間

旅には、事前に調べて一つの目的に向かう旅や、着の身着のまま何も決めずに出る旅など、形は様々。どれも楽しい旅に違いありません。そんな旅で旅情を感じる写真を撮るにはどうしたらよいのでしょうか？

私は、途中の道のりに何気ない風景、事柄、物体を見つける旅の仕方をお勧めします。撮影ポイントに行くまでには、美しい村が広がっていたり、また食事の後、宿に戻るまでの道すがら、人の優しさが垣間見えるシーンに出会ったりと、何気ない道中にも素敵なシーンはたくさん転がっています。一番大事なことは「空気感」。その場の匂いや音など目には見えない空気を写真に収めることです。カフェに入ると、窓からすーっと優しい光が差し込み、テーブルクロスやティーカップたちが、自らの意思を持ってるように凛とした空気を生み出したりします。

次に大事なことは「ふとした瞬間も

とらえる」。通りを横切った瞬間、料理を運ぶ店員が目の前に現れたり、駅の待合室の前を通り過ぎようとしたとき、いい逆光を浴びた初老の男性が座っていたりします。そんな写真は、自分がそこにいた旅の証と共に、臨場感が表現できます。

そして、「自分の足元、手元にある小さな事柄を見逃さない」。ホテルの部屋に帰ると、撮影が終わったような気持ちになりがちですが、実は部屋の中にも良い光があり、テーブルの上にもちよつと置いたお土産の置物や飲みかけのワイングラスなど、旅で出会う小物+良い光の組み合わせは、旅のエッセンスを醸し出す大事な写真になります。

旅の日数にもよりますが、帰ったらぜひ10〜30枚ぐらいの組写真を制作することをお勧めします。組写真を作ってみると、自分の写真に何が足りないか、自ずとわかってきます。そして、「何でもないものに美しさを感じる心」も養われてきます。ぜひ今年の秋は旅情を意識した旅を！



オランダのアムステルダムにある「ヘンドリキエ・バッグ博物館」内にあるカフェにて。
D7500・AF-S DX NIKKOR 18-140mm f/3.5-5.6G ED VR・f/4.5・1/320 秒・ISO800・WBオート



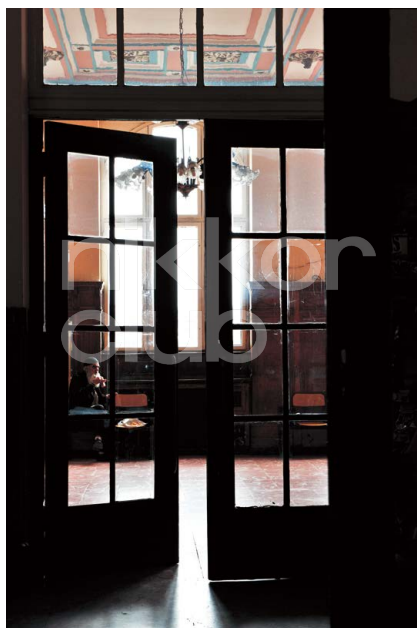
3 KEY POINTS

- 空気感を出す
- ふとした瞬間もとらえる
- 自分の足元、手元にある小さな事柄を見逃さない

トルコのイスタンブールの夕暮れ、旅人が集まるレストラン街にて。

D4S-AF-S NIKKOR 28-300mm f/3.5-5.6G ED VR・f/9・1/24秒・ISO6400・WB晴天

特集
写真を撮る旅へ
出掛けよう



(左) 南アフリカ共和国のケープタウンから東へ50キロに位置するワインランドのホテルにて。

D5-AF-S Micro NIKKOR 60mm F2.8G ED・f/11・1/160秒・ISO1600・WB晴天

(右) トルコのイスタンブールにあるシルケジ駅の待合室。

D4S-AF-S NIKKOR 24-70mm F2.8G ED・f/11・1/50秒・ISO400・WBオート



岐阜城に昇る月／月の軌道をあらかじめ調べておき、岐阜城と重なるタイミングを見計らい撮影。離れたポイントから超望遠レンズで撮影することで、城に対して月を大きく見せることができ、インパクトのある作品ができる。日没直後なのだが、色づいた空と月という珍しい1枚となった。

Z 7 II・AF-S NIKKOR 600mm f/4E FL ED VR + マウントアダプター FTZ II・f/8・1/25 秒・ISO100・WBオート

小林 淳

ドラマチックな 写真を作る旅



工夫することで撮れる1枚

その地の象徴的なモノを撮影することが好きです。シンボライズされたものは、そのもの自体に被写体として力がありますが、撮影する時間帯やロケーションなど、動かすことのできない被写体に対するアプローチ方法を工夫しなくては、大して面白味のない「記録写真」となってしまいます。

全国的に人気の被写体になりつつある岐阜城。「月と岐阜城」は、しばしば合成写真と間違われます。岐阜城は、平野にそびえる金華山の山頂に建ち、遮るものが少なく、10 km離れた場所からも城を撮ることができるという地理的条件こそが唯一無二の被写体となったのでしょうか。月は日本中どの場所から撮っても一定の大きさだが、城は離れるほど小さく写る。城から離れた場所から月と城を重ねて撮影すると、月に対して城は小さい。そこで超望遠レンズを用いると、巨大な月を背負った岐阜城が表現できるのです。これは、月と城が重なる位置を調べ、な

るべく城から離れた位置から撮影するという工夫から生まれた作品なのです。

岐阜城に対しては、違ったアプローチでもレンズを向け続けています。例えば、長良川の水面に映り込む様子や、城の上空に稲妻が走る夜の撮影、もっと角度を変えて岐阜城の天守閣からお城の屋根瓦を構図に取り込みつつ岐阜の街並みを写すなど、どこから撮影しても飽きない被写体です。

風景写真を撮影する上では、水辺の風景、とりわけ水面の映り込みをテーマに撮影することもあります。カメラ雑誌で目にした「撮るものに困ったら水辺に行け」というアドバイス。素直に困ったら水辺に足を運んで、「リフレクション」の撮影の面白さに気づくことになりました。カメラを水面ギリギリに構え、風が静まり水面が穏やかになるのをじっと待ち、ようやく撮影できた1枚からは、実像と虚像の関係から生まれるコンポジションにワクワクしてしまいます。その静かな水辺には、風景写真家の感性もガリフレーションしているのかもしれないですね。



長良川の夜明け／朝日が昇る時間に、長良川の河原から金華山、岐阜城を撮影した。岐阜市内を流れる長良川の流れは穏やかで、条件が良いと岐阜城や空の表情の映り込みを狙うことができる。鵜飼の開始を待つ鵜舟が良いアクセントになっている。

D850・AF-S NIKKOR 16-35mm f/4G ED VR・f/9・1/125秒・ISO160・WBオート



岐阜城天守閣からの眺め／岐阜城は岐阜市にそびえる金華山の山頂付近に築城されており、天守閣の展望室からは岐阜の街を一望することができる。日が傾き始めた頃、雲の隙間から光芒が濃尾平野に降り注ぐ幻想的な瞬間を撮影することができた。

D850・AF-S NIKKOR 16-35mm f/4G ED VR・f/8・1/400秒・ISO160・WBオート



さくらリフレクション 一国宝彦根城の桜ー／国宝である彦根城のお堀沿いには、1100本もの桜が咲き誇る。特に、ライトアップされた桜とそれがお堀の水面に映り込み光景は圧巻であり幻想的だ。

D800E・AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8G ED・f/8・8秒・ISO200・WBオート



岐阜城と稲妻／実はこの撮影に成功する数十分前に、岐阜城に虹がかかるシーンの撮影に成功した。その後、空は瞬く間に雨雲に覆われ雷が鳴り始めた。慌てて三脚とカメラをセットし、岐阜城上空に稲妻が走るのを狙って撮影した。

D850・AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8G ED・f/18・13秒・ISO64 (3枚を比較明合成)・WBオート

特集
写真撮る旅へ
出掛けよう

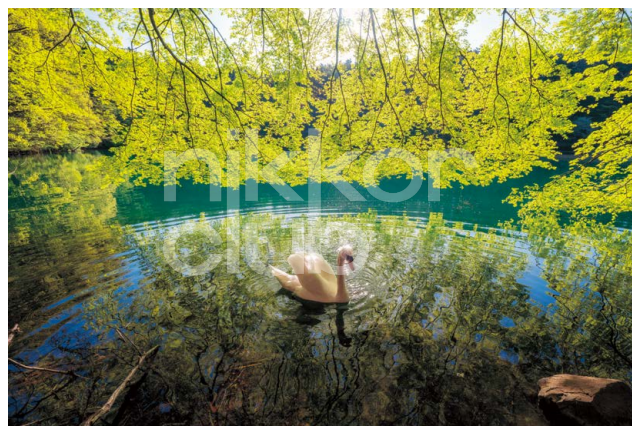
③ KEY POINTS

- 位置や環境を調べる
- 超望遠レンズの効果を最大限生かす
- リフレクション撮影の面白さを取り入れて



静かな夜明けー精進湖の朝ー／山梨県の富士五湖の一つ「精進湖」にて撮影。マジックアワーの空が幻想的であった。朝から吹いていた風は一瞬静まり、わずかな時間だけ水面に富士山が映り込んだ。

Z 7 II・NIKKOR Z 24-70mm f/2.8 S・f/20・30秒・ISO31・WBオート



新緑の南伊奈ヶ湖／山梨県「南伊奈ヶ湖」で撮影。新緑の木々とそれが水面に映る光景が幻想的で、さらにこの湖に一羽しかない白鳥がそこを通ったシーンは、絵本の世界に迷い込んだような光景であった。

Z 7 II・NIKKOR Z 14-24mm f/2.8 S・f/8・1/125秒・ISO80・WBオート

助川康史

車窓からの 写真を楽しむ



電車だから撮れる光景を

鉄道旅の車窓というのは不思議なもので、いつまでも無心に眺めることができます。美しい山々の風景や色とりどりの家並みなど、次々と変わる車窓がリズムカルな走行音と揺れとが相まって、旅という非日常の時間を盛り上げてくれます。そんなセンチメンタルな気持ちにもさせてくれる車窓風景、ただ眺めるだけだなんてもったいない！列車での移動中も、ぜひカメラを出して車窓風景を撮影してみよう。魅力あふれる鉄道写真になること間違いありません。

車窓風景と言っているだけでも、ただ撮るだけではその魅力も半減してしまいます。車窓風景撮影にも撮影テクニックやセオリーがありますので、今回はそのお話を少ししたいと思います。

まず大切なことは「列車に乗っている」ということを表現しなくてはなりません。効果的なのは、列車の一部や鉄道施設の一部が入る構図にします。例えば撮影場所が座席であれば窓枠や車内の一部を、先頭部や最後尾の窓なら

ば線路を入れます。車両の窓枠やレールが構図に入るだけでグッと鉄道の雰囲気が出ます。ちなみにSNSなどで車窓から外の風景のみを写している写真を見ますが、これでは列車旅どころか建物の窓から撮影しているようにも見えてしまうので、旅の記録として表現するには弱くなっています。

シャッタースピードも工夫してみましょう。理想は手前の草木などが流れ、遠方の景色が止まって見えるシャッタースピードです。一概には言えませんが、列車の速度が100km/hぐらいなば1/60秒、同じく50km/h以下ぐらいならば1/30秒くらいを目安にします。車窓風景を写し止めるのではなく、動きを出すことで列車の走行感や臨場感を表現できます。

思い入れのある街や見知らぬ地を旅するのは実に楽しいもの。まさに旅は心の栄養です。旅先に加えて、旅路の思い出もしっかりと作品として残したいものです。そしていつか写真で旅を見返したときに、また新たな旅に思いを馳せるきっかけになるはずです。



わたらせ渓谷鉄道 沢入～原向／列車の最後尾の窓から輝くレールと鮮やかな紅葉の車窓を狙った。レールだけでも鉄道感を出せるが、さらに1/30秒というスローシャッターで走行感も表現。日常から離れ、見知らぬ地へと向かう鉄道旅を感じる。

Z7-AF-S NIKKOR 14-24mm f/2.8G ED+ マウントアダプター FTZ-f/18・1/30秒・ISO64・WB晴天日陰

nikko club



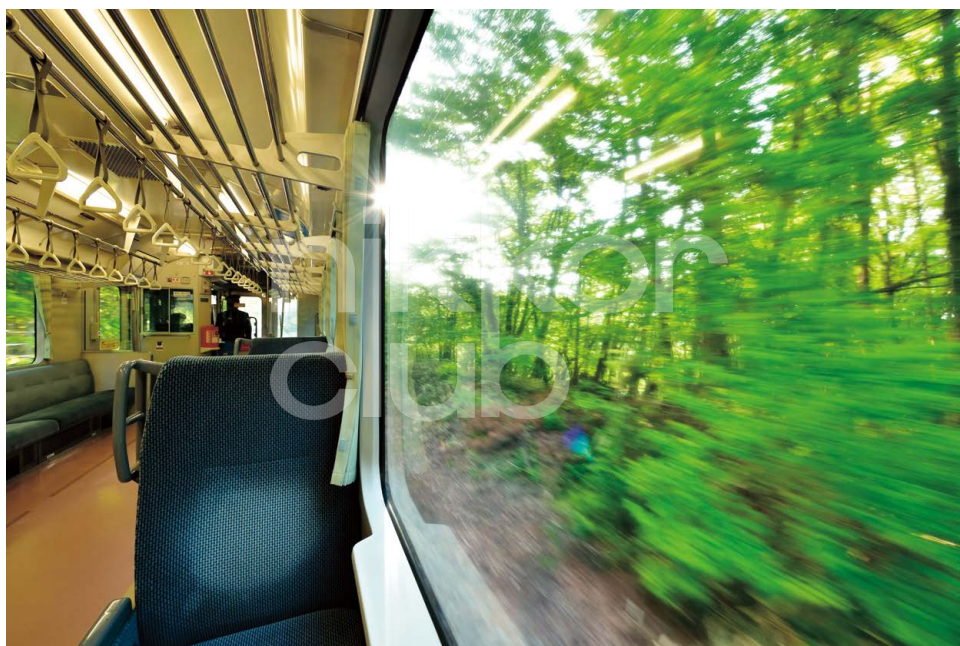
3 KEY POINTS

- 「列車に乗っている」ということを表現
- シャッタースピードに工夫を
- 列車の走行感や臨場感を表現しよう

吉都線 京町温泉～えびの／今日の旅の終わりを美しいマジックアワーが彩る。その光景と人のいない車内も入れて、静かなローカル列車旅を表現した。窓が開く車両ならば窓への映り込みが無いので、よりクリアに車窓風景と車内が撮れる。

Z 6・AF-S NIKKOR 14-24mm f/2.8G ED+ マウントアダプター FTZ-f/5.1/60秒・ISO1600・WB白色蛍光灯

特集
写真撮る旅へ
出掛けよう

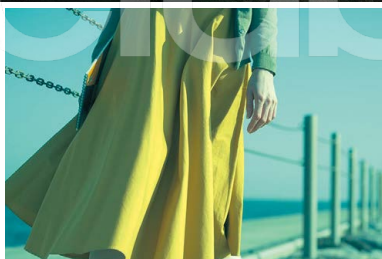


小海線 甲斐大泉～清里／小海線の始発列車に乗って、新緑の高原列車の旅を楽しんだ。林の中は暗いので、車内の露出と合わせやすくなる。座席を入れることで列車旅の雰囲気もたっぷり。一緒に旅をする人を写しても絵になる構図だ。
D850・AF-S NIKKOR 14-24mm f/2.8G ED・f/9.1/60秒・ISO800・WB晴天

楽しく学べる!
写真教室

Nikon College

ニコン カレッジ



ニッコールクラブ会員

¥1,000 割引 |
～ ¥3,000

※割引対象外の講座もございます。
詳細はニコンカレッジWebサイトをご確認ください。

10月・11月・12月講座 9月9日(金)申込受付開始

詳しくはニコンカレッジWebサイトをご覧ください。※9月5日(月)更新予定

<https://www.nikon-image.com/nikoncollege/>

ニコンカレッジ

検索



ニコンカレッジは、どなたでも受講いただける写真教室です。講師を務めるのは、全国の第一線で活躍中の50名を超えるプロの写真家です。幅広いジャンルの多彩な講座ラインナップをご用意しておりますので、初心者から上級者まで、お客様の興味や目的に合わせて、楽しみながら写真を学んでいただけます。少人数でプロから直接学ぶ撮影ノウハウは、きっと、あなたの写真表現の幅を広げることでしょう。ご自宅から受講できるオンライン講座に加え、全国7地区*で対面講座を開催。平日の仕事帰りや休日に学べる講座もご用意しています。ニッコールクラブ会員の方は割引価格で受講できる講座が多数あります。対面講座は、新型コロナウイルス感染防止のため、定員を10名以下に抑え、検温、消毒、換気など各種感染防止対策を施して開講いたします。

※東京、大阪、名古屋、札幌、仙台、広島、福岡で実施

10月・11月・12月講座より、ピックアップ!

1 オンライン活用講座を 49講座まで増強!

ニコンカレッジのオンライン講座は、初めての方やお忙しい方でも気軽にご参加いただけます。講義を中心としたセミナー形式のオンライン講座と、受講者の作品を講師が講評しながらアドバイスする講評会形式のオンライン講座を合わせて計36講座まで拡充。「写真の“考え方”についても学んでみたい」とのご要望にお応えして、写真の奥深さを解説するアカデミックな講座もご用意しました。さらに、対面での撮影実習とオンラインでの講評会を組み合わせ、効率良く学べる“ハイブリッド講座”も全国で13講座ラインナップして、実践でのステップアップをサポートします。

2 動画を楽しむための講座を 拡充!

Z 30 の発売に合わせ、動画関連の講座を大幅に増強。ゲスト講師としてビデオグラファー 岩本あきら氏を招いて開催する“Vlog入門”オンライン特別講座、Instagramのリール動画やVlogの撮影から編集/公開までの流れを学べる講座、動画編集の基本やコツを学べる講座、ハイクオリティな動画作品制作についての講座の他、東京校・名古屋校・大阪校では、実際にZ 30を使って試せる“体感講座”も開催。動画が初めてという方、動画制作をもっと楽しみたい方、ぜひご参加ください。